Governor's Monthly Letter

ガバナー月信

2011－'12年度
国際ロータリー第2770地区

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

R.I.D.2770 2011-2012 SAITAMA JAPAN
奉仕の精神で地球を抱きしめよう

2011.11
第5号

国際ロータリー第2770地区
ガバナー　三國　明

〒330-0063　さいたま市浦和区高砂1－2－1－116
エイペックスタワー東館1階
TEL：048-827-0022　FAX：048-827-0011
E-mail：ri2770-184@plum.plala.or.jp

◆春日部市銚子口の獅子舞

江戸時代、現在の越谷市下間久里から伝わった獅子舞で、市内には銚子口のほか、赤沼、東中野にも同系統のものがあります。なかでも銚子口香取神社に奉納される「一人立三頭獅子」と呼ばれる獅子舞は元禄10年（1697）以来の市内最古の獅子舞で、市無形民俗文化財に指定されています。

ロータリー理解推進月間

2011－2012年度ガバナー　三 國　明

今月はロータリー財団月間です。ロータリー財団の正確な呼び名は国際ロータリーのロータリー財団と言います。第一次大戦のさなかアーチー・クランフが緊急時のための基金を作ろうと提案しできたものですが、それから三十年ぐらいは殆ど基金への寄付がされていませんでした。1947年ポールハリスの死後彼の遺志を受け継いで、財団への寄付が飛躍的に増えました。

ロータリー財団の目的は健康状態を改善し、教育への支援を強め、貧困を救済することによって、世界理解、親善と平和へ寄与することです。財団が出来て最初のプログラムは高等研究奨学金で、今日で言う国際親善奨学金でした。ついでながら、アーチー・クランフはロータリーに地区とガバナー制を創設しロータリー組織の基礎を構築した偉大な人です。ロータリー財団というと、とかく寄付集めばかりと思っているロータリアンが多いのではないでしょうか。決してそうではありません。ロータリアン各自が寄付した金額の合計の半分が３年後には地区に戻ってきます。これがいわゆるDDF（地区活動資金）で有ります。後の半分はどうなるのかと言いますと、WFと言われるものになります。正確には地区に戻ってくるのは年次寄付の半分だけでなくて、恒久寄付の運用利息の半分もDDFに含まれています。

ご承知のようにこうして地区に戻ってきたDDFは新地区補助金とグローバル補助金に分けられます。前者は地区の裁量によりいろいろなクラブの奉仕活動に使用できます。グローバル補助金の方は６つの重点分野に当てはまる奉仕プログラムに使用します。現状ではパイロット地区同士のジョイントプログラムのもとで使います。ロータリー財団のプログラムというものと国際ロータリーのプログラムがあって混乱のもとになっております。しかしこの財団のプログラムを詳しく正しく知ることが一番大事なことです。これなくしては寄付の意味を理解することは困難です。各クラブの会長、幹事はきちんとそこのところをクラブのロータリアンに説明してあげて下さい。また地区財団委員会の皆さんもこのことに徹底するようにして下さい。

ロータリーには語るべきストーリーがたくさんあります。このストーリーを語ることなくいきなり寄付を呼びかけても成功しません。私たちの志が寄付行為につながるようなアプローチを心がけて下さい。財団プログラムには、まずなんと言っても、ポリオプラスです。そのほか、財団奨学生、ロータリー平和フェロー、職業研修プログラム（VTT）、六つの重点分野に関わる他地区とのジョイントプログラムです。

寄付のタイプでは、一般的なものはまず年次寄付において、毎年各ロータリアンが100ドル寄付というものです。我が地区では毎年200ドルを達成しております。この点、国内の地区でも有数の地区になっています。次の恒久基金寄付ではいわゆるポールハリスフェローというものがあります。1000ドル寄付のことです。これは、分割でも認められます。1000ドルに達するまでは、いわゆる準フェローと言われるものです。その上は10000ドル寄付者で、メジャードナーといわれます。いわゆる大口寄付者です。さらにその上は、冠名基金、世界平和冠名フェローシップ基金、遺贈友の会などなどです。最近では、ロータリーカードというものがあります。それを使って買い物した場合、そのポイントを寄付に回すことが出来、また買い物額に応じた一定のお金がカード会社からもロータリーに寄付される仕組みです。是非このような仕組みを使って財団に寄付をして地区へのDDFを増やして大きく奉仕プロジェクトに使いましょう。世界のためにロータリアンの力を結集して、良いことをしようではありませんか。

クラブ会長・クラブ幹事へお願い

１月の半期報告書に正しく反映させるため、
会員リストの更新を宜しくお願いします。

ロータリー財団月間に因んで

ロータリー財団部門委員長　鈴木　英男（越谷北RC）

11月はロータリー財団月間で、会員の皆様に例年同様に寄付金をお願いしなければなりません。今年度も、会員一人当たりの目標額は、次の通りです。

年次寄付目標	年次寄付	200ドル
	ポリオ・プラス寄付	50ドル
	会員一人当たり合計	250ドル
恒久基金目標	一クラブ当たり	ベネファクター１名
	会員50名以上のクラブ	ベネファクター２名

この年次寄付がどのように使われるか分からないと言う質問をよく受けますが、皆さんからの年次寄付は全額が財団本部に送金され、そこで３年間運用されます。そして、３年後に年次寄付と恒久基金の利息の50％が地区財団活動資金（DDF）として地区に戻り、50％が国際財団活動資金（WF）として使われます。

地区に戻ったDDFが、ロータリー財団奨学生の派遣、地区補助金、職業研修チームの派遣等に有効に使われます。

年次プログラム基金は、ロータリー財団プログラムの主要な資金源になります。

恒久基金は1982年に「世界理解と平和のためのロータリー財団」として創設され、1994年に恒久基金と改称されました。元金は使わない基金で、投資収益のみが財団プログラムに使われます。

（税制上の優遇措置について）

年次寄付、ポリオ・プラス、グローバル補助金提唱者負担分寄付、その他使途指定寄付については、2011年４月１日から税制上の優遇措置が適用されるようになりました。

恒久基金への寄付についても、公益財団法人への寄付として2011年７月１日から税制上の優遇措置が認められることになりました。

個人の場合は、一年間の特定寄付金の合計額から2,000円を引いた金額が、総所得金額から控除出来ます。但し、その年の総所得金額の40％相当額が限度です。

ロータリ財団部門では、各クラブに出向いて卓話をし、クラブの皆さんと一緒に勉強をさせて頂きますので、ロータリー財団月間を問わず、地区の方に卓話の申し込みをして下さい。

11月のスケジュール

曜日	11月		曜日	11月		曜日	11月		曜日	12月	
火	1	上尾東	金	11		月	21		木	1	春日部西
水	2	川口むさし野	土	12	**地区大会**	火	22	大宮北東	金	2	
木	3	文化の日	日	13	**地区大会**	水	23	敬老感謝の日	土	3	
金	4		月	14		木	24		日	4	
土	5		火	15	川口北東 三郷中央	金	25		月	5	
日	6		水	16	川口・鳩ヶ谷武南	土	26		火	6	
月	7		木	17	戸田西 戸田イブニング	日	27		水	7	
火	8	桶川イブニング	金	18		月	28		木	8	
水	9		土	19		火	29	鳩ヶ谷シティ	金	9	
木	10	浦和東	日	20		水	30	三郷ウェンズデー	土	10	

（注）上の段は昼間の例会　下の段は夜間の例会

「ポリオ撲滅ロータリーの２億ドルチャレンジ」
チャリティーバザーとフード販売 さいたま市誕生10周年イベント

地区ロータリー財団部門　泉谷　聡（浦和RC）

さわやかな秋晴れのもと、10月８日・９日の２日間さいたま新都心けやき広場で開催されたさいたま市誕生10周年イベントにおいて、ポリオ撲滅キャンペーンの一環としてチャリティーバザーと焼きそばなどのフード販売が行われました。

第２回目となった今回のイベントでは、第７G～12Gのロータリアンとそのご家族、事業所より協賛品の提供を協力いただきました。バザーテントでは、各クラブから応援に駆け付けて戴いたロータリアンも加わり、寄贈された日用品、贈答用の食品や寝具、衣料品が所狭しに並べられる中、列をなして集まった市民の方々に次から次へと飛ぶように販売されていきました。両日のバザーの売り上げは、約46万５千円にも上りました。

テント脇では、ポリオ募金と東日本大震災募金も行うとともに、ロータリーのポリオ撲滅活動を広く市民の方々に知って戴くためにポケットティッシュも配布しました。

ポリオ募金総額は約４万円、そして震災応援募金は約８万７千円でした。

フード販売のブースでは手作りのソース焼きそばともつ煮込みを販売しました。ここでも行列ができ、２日間で用意した1,200食分はすべて完売しました。売上金の58万円から食材費などを差し引いた全額をポリオ撲滅基金として財団に送金します。

そしてこの様子は埼玉新聞10月９日版にも報道されました。

我々ロータリアンが世界的に最優先事項として掲げているポリオ撲滅プログラムについて、地域社会の人々にその目的を広く伝え、よく理解され、同時に楽しんでいただきながら、多数の市民にこのチャレンジに参加してもらうこの企画は今回も成功裏に行われました。その背景には財団部門のスタッフの超我の奉仕の精神と行動、そしてそれを支えていただいた地区内全ロータリークラブの協力がありました。ご支援に改めて感謝します。

財団奨学生からの留学便り

2011－2012年度派遣奨学生　武田　和久

2011－2012年度派遣奨学生の武田和久と申します。2770地区の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

私は現在、2770地区のご支援をいただき、新地区補助金をいただいてイギリスにあるエディンバラ大学に留学中です。エジンバラに着いて２週間ほどが過ぎ、ようやく諸々の手続きもすませて身の回りのことも片付いてまいりました。こちらに到着して早々に私の担当教授であるマードック先生と、以前から日本でお世話になっていて今回私の副担当教授をお引き受け下さったディキンソン教授とお会いすることができ、研究の方も順調に進んでおります。

私の専門はスコットランドの歴史で、特に1707年にイングランドとスコットランドが合同した時期について研究しております。イングランドとスコットランドは今でこそ「イギリス」というひとつの国ですが、それまでは全く別の王国でした。かつて敵国になったこともある国同士が一つの国になるということは実に多くの困難をともなったようです。現在のユーロ圏の混乱や、日中韓とASEANの関わり方が必ずしも包括的で調和のとれたものでないことを考えてみても、国家間の協調がいかに困難であるかご想像いただけるかと存じます。

私が在籍しているのはMSc by Researchという修士課程のコースです。資格は修士課程なのですが、自分自身で研究を進めて１年間を通して論文のみを書くというコースであるため、特に出席しなくてはならない授業というものはありません。（もっとも、実際には聴講の形式でいくつかの授業に参加しています。）その分、自分がどの程度研究を進めたかということがはっきりと示されるため、気を引き締めて日々の研究を進めております。

現在は毎週金曜日にマードック先生ならびにディキンソン教授とのミーティングがあり、すでにいくつかの書評やレポートなどを提出して、多くのご助言をいただきました。

授業がない分、友人を作ることがなかなか難しいのではないかとはじめは考えておりましたが、歴史学科（School of History）をはじめ様々な団体の会合を通して、他の研究者の方々や学生たちと触れ合うことができ、充実した日々を送っております。様々な国籍の、様々な研究分野をもつ研究者と触れ合うことができることはとても良い刺激になります。

研究の環境としましても、エジンバラにはスコットランド国立公文書をはじめとして歴史的に貴重な、そこでしか見られない文書を所蔵している文書館であふれています。こうした得難い環境の中で研究を進めることができるのも、ロータリー財団と2770地区の皆様の温かいご支援のおかげです。出発にあたり温かいお言葉をいただきました三國ガバナーをはじめ、ご推薦いただきました川口ロータリークラブ様、また、お忙しい中１年にわたるオリエンテーションや各イベントなどで温かくご指導いただきました2770地区をはじめとするロータリアンの皆様にあらためてお礼を申し上げたいと存じます。本当にありがとうございました。

着いた当初は冬を思わせるかのような寒さと強風に見舞われていたエジンバラですが、最近は穏やかで温かな日差しが気持ちのよい一日でした。これから寒さがますます厳しくなる季節になりますが、ロータリー2770地区の皆様がパワフルに運営されている各計画のご成功と、新しく派遣される奨学生の皆様が同じように素晴らしい環境で勉学に励めることを心からお祈り申し上げます。

先輩より

ロータリーの新しい歴史をつくる ──規定審議会──

パストガバナー 久世 晴雅

私が規定審議会へ出席したのは昨年2010年４月25日～30日、ロータリーの発祥の地シカゴで開催されました３年に１回開催される国際ロータリーの立法機関、規定審議会。会議の冒頭、R.I会長は「この会の代表議員は、ロータリーの未来を形づくる責務を担っています。この会の決定はロータリアン一人ひとり、ひいては奉仕活動の恩恵を受ける何百万人もの人々に影響を与えることとなります。『ロータリーの未来はあなたの手の中にある』と。

採択された案件は時代ともいえるＥクラブを規定する件第五奉仕部門「青少年奉仕」を加える件。そして決議23－34、社会奉仕に関する1923年の声明の第１項を奉仕の哲学の定義として使用することを検討するよう要請する件。人頭金の増額を１ドル増額する等々。このように自分たちのルールは自分たちで決めるという原則です。

次の規定審議会は2013年です。今年の12月31日迄に地区大会の審議を得て提案する時期となります。

100年を過ぎたR.I. 変革、改革で次なるロータリー活動のため、参加しましょう。

私もその１ページに携わったことに感謝しております。

私とロータリー

パストガバナー 高浜 彰男

今からほぼ半世紀前、昭和39年に私は業界の仲間達と三井物産の訪米ミッションの一員として、アメリカ各地を歴訪し、視察や研修を行っていた。東京オリンピックが開催され、開会式の様子が衛星中継されて、フロリダ州のタンパで真夜中に初めてカラーテレビで放送されたのを眠い目をこすりながら見た事を思い出す。同行していた札幌ロータリークラブのＳ氏がロータリアンでいらして、国際ロータリーの本部（ヘッドクォーター）がシカゴ郊外のエバンストンにあるので訪問するという。私もタクシーでご一緒させて頂いた。現在の立派な大きなビルと違い、低層のシックな建物であった。そこでRIの職員にロータリーの奉仕の理想について説明を受け、ロータリークラブの存在を知り、おぼろげながら世の為、人の為に活動する組織が存在するのを実感した。

帰国して３年後、私の住む小さな町にもロータリークラブが出来るという気運が起った。春日部ロータリークラブのスポンサーで幸手ロータリークラブが誕生するのに私も参画する事が出来た。以来45年の歳月が流れ世の中は景気の浮き沈み等があって、社会は一変しましたが、ロータリーは連綿と続いている。世の中がどう変わろうと社会の為に、人の為に、国際平和の為に、少しでもお役に立ちたいという組織が社会で必要とされている事は間違いない。我々は、国際ロータリーの一員であるロータリークラブの職業を通じて選ばれた会員である。選ばれたロータリアンとしての自覚と誇りをもって、これからも生きていきたいと念願をしている。

ロータリーは老壮青の会員が、良くバランスがとれてこそ充実し、発展できるものと思う。若い会員をどしどし入会させて、クラブに新風を吹き込みながら、古い伝統もまた大切と考え、調和をとりながら、そして楽しみながらロータリークラブの発展を期したいと願っている。会員諸兄姉の皆様、誇りをもってロータリー活動に取り組み、仲間を増やしていこうではないか。例会は楽しみながら人間修行の場にもなる。

若いメンバーには例会出席は自分磨きに効果絶大だとロータリーを推奨している次第である。

後輩より

平成22年９月７日入会／第11グループ

クラブの活性化について

此川 元治（川口東RC）

尊敬する先輩のご紹介のもと歴史ある川口東RCに入会して既に１年が過ぎました。今回RC１年生である私に『クラブの活性化について』というテーマで寄稿依頼がありました。≪奉仕の理想≫を目指す会員の一人として光栄の極みでありますが、それと同時に大きな責任を感じつつ、その筆を進めております。本来ならクラブを活性化する為の具体的な手法を述べることが肝要かと存じますが、今回は私が考える三つの方針について簡潔に述べさせていただきます。

先ず１つ目は私たちが目指す≪奉仕の理想≫、その【意識の拡大】であります。すなわちクラブの事業を通して、その内外に対しその満足度を更に広げ、会員数の拡大を図ることが必要だと考えます。

２つ目は【資本価値の増大】です。これは会務を通して会員の自己研鑽を図り、その資本である会員相互の利益拡大や地域の発展を図っていくことが必要だと考えます。また会員各位の健康管理に留意し、その活動フィールドである地域の安全を図ることなどは、その活動の資本価値を増大させることになると考えます。

３つ目は【革新】です。ご承知の通り戦後の焼け野原から不死鳥の如く奇跡の発展を遂げた日本経済・社会は90年代前後に、その発展を支えたシステムが上手く機能しない時代に入ってしまいました。現在RCも日本社会同様に上記の２点を今まで通りに進めていくことが困難になっていると痛切に感じております。これからはクラブの普遍の原点を大切に守りつつ、時代に則した革新的な仕組みのもと具体的な手法を行うことが、その活性化に繋がると私は信じます。

困難な時代に立つクラブの一人として心が引き締まる思いでありますが、ここで筆を置かせていただきます。

奉仕プロジェクトセミナー　職業奉仕部門報告

職業奉仕部門委員長　青木　伸翁

職業奉仕の理念と実践をテーマにセミナーを開催しました。

前半に実践例を紹介し後半で理念・理論を学ぶ予定で開催しましたが、時間の設定がうまくいかず、理念・理論の解説が出来ませんでした。しかし、実践紹介では、2580地区（東京）昨年度、職業奉仕委員長の渡辺孝至氏をお招きし、「幾百年も永続し反映する、京都の老舗17店舗に学ぶ」と題し京都の老舗がどんな家訓、経営理念を持ち栄えてきたかを講演していただきました。結論として、京都の老舗は共通して「売り手よし、買い手よし、世間よし」、「三方よし」の理念を持って営んでいた。この理念は、我々ロータリーの「職業奉仕理念」と良く似た考え方との話でした。続いて、わが地区職業奉仕委員会のメンバーが、法政大学教授「坂本光司」氏の著書「日本で一番大切にしたい会社」から企業を紹介しました。坂本教授は日本の中小企業6000社を調査し継続して繁栄している会社を紹介しています。その中で、坂本教授はそれらの会社で共通していることがある。それは「社員と家族、取引先仕入先、顧客、地域社会、株主」の５人を大切にしていることだと言っています。このことも、奉仕（思いやり）の心を大切にする、我々の「職業奉仕理念」と酷似しています。

要するに日本では、古くからロータリーの言う職業奉仕という考え方とほとんど同じ考え方を持って商売をしていて、職業奉仕という考え方は、我々には解り易い理念・理論であるということではないでしょうか。

今年度、職業奉仕委員会では「職業奉仕」を中心にロータリーを共に学ぶことを目的に、年３回「公開委員会」（すでに１回は終了）を行いますので、多くの皆様の参加を宜しくお願い申し上げます。

奉仕プロジェクトセミナー　社会奉仕部門報告

社会奉仕部門委員長　池畑　秀夫

７月23日に開催されました「奉仕プロジェクト合同部門セミナー」には390名を越えるロータリアン並びに関係各位のご参加を頂き、盛会裡にセミナーを開催することが出来ました。今回のセミナーテーマは、ガンバレ東北！とどけよう奉仕の心！と題しました。セミナーの基調講演では、双葉町町長　井戸川克隆様、第2530地区直前ガバナー大橋廣治様より震災での体験を元に貴重なお話を拝聴させて頂きました。続く分科会では、（財）埼玉県腎・アイバンク協会理事長　小峰理孝様をゲストにお招きし、腎・アイバンクについての説明をして頂きその後、登澤地域社会委員長、佐々木ブライダル委員長からそれぞれ具体的な本年度活動方針や内容の説明がありました。限られた時間内でのプログラム内容の為ご参加頂いた皆様には説明不十分だったかも知れません。社会奉仕、ブライダルに関する質問、ご意見が有りましたら、地区担当者までお気軽にお問い合わせ下さい。尚セミナー当日における東日本大震災支援の募金活動では、金122,486円皆様よりご寄付を賜りました。

就職応援プログラムを開始しました！会員事業所様の暖かいご支援を！

東日本大震災復興支援チーム　委員長　隅内　道三

被災地（岩手・宮城・福島）の新規高卒者（３年内既卒者含む。）を主な対象とした「就職応援プログラム」がスタート致しました。県内ハローワークと連携して、ロータリアン事業所からの求人情報を被災地に提供する取り組みです。この支援活動は、早速10月20日付の埼玉新聞社会面にも掲載されるなど、社会的な関心を呼んでいます。

大震災から７ヶ月が経過するも、今なお被災者の生活は震災直後と変わらない窮状の中にあります。復興支援チームでは、このプログラムを通して、未来ある若者に希望の光を与えられたらと念願しております。会員各位の暖かいご支援を心よりお願い申し上げます。求人・求職は互いの条件が合致したときに実現します。求人応募が必ずしも採用につながるものではありません。今最も大事なことは、被災者に求職の機会をできるだけ多く提供することであって採否の結果ではありません。是非、会員各位の積極的な求人応募をお待ち致しております。

なお、第１次募集は「就職説明会」の設置の関係で11月10日が期限となっております。

詳しくは、地区事務所：復興支援チームまでお問い合わせ下さい。

2770みちのく応援活動

大宮南西ロータリークラブ　会長　福田　和子

９月28日、今年度の活動の柱である、友好クラブ福島中央ロータリークラブの表敬訪問と被災地支援活動を兼ねた視察旅行を実施致しました。先様の例会に参加させていただき、2770地区みちのく応援横幕を広げ、交流を深めるとともに福島の現状をお聞きしました。また宮城県の松島・石巻と海辺の被災地を視察し、その惨状を目の当たりにして、あらためて今後の支援活動の重要性を認識してまいりました。

草加光陽育成会40周年記念ボーリング大会報告

草加イブニングRC　クラブ広報常任委員長　長谷部　健一

９月10日に草加市内の心身障がい児・者の会である草加光陽育成会の40周年記念ボーリング大会が、草加イブニングRCの後援によりボーリング場SAP草加で開催されました。心身に障がいを持つ会員340人のうち38人が参加し、草加イブニングRCからも河井孝夫会長をはじめとする７名の会員が参加して、和やかなうちにも大変な盛り上がりを見ることができました。

終了後は表彰式を行い、当クラブの会員が提供したトロフィーと楯を参加者全員が受取り、特に上位入賞の方は大変な喜びをかみしめられたようです。当クラブは今年20周年を迎えるにあたり、記念事業として施設運営を行っている社会福祉法人光陽会に、防災倉庫を寄贈する予定をしております。

なお、この事業は地元のメディアである東武よみうり新聞社の取材を受け、９月19日付けの新聞に大きく取り上げられました。ロータリークラブの社会奉仕活動が広報されたものと、会員一同社会奉仕の気持ちをまた新たに持つことができました。

公式訪問レポート（ガバナー公式訪問を終えて）

岩槻RC

例会日：平成23年８月４日（木）
会長：青木　繁之／幹事：原田　晃博

去る８月４日、三國明ガバナー、久下良夫第４グループガバナー補佐、鶴見裕地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を行いました。

例会では三國ガバナーより、RIテーマと「家族・継続・変化」という強調事項、地区の活動テーマ、そして会員増強とクラブ活性化など、プロジェクターの映像を交えながら卓話を頂きました。

またクラブ協議会では、各委員会の活動計画などパワーポインターを使用し発表致しました。ガバナーには的確なるご指導とアドバイスを頂き、会員一同感謝し、今後のクラブ活動に活かしていきたいと思っております。

猛暑の中、長時間に渡りご指導を頂き、誠にありがとうございました。

草加南RC

例会日：平成23年８月25日（木）
会長：戸室　幾夫／幹事：竹村　晴兆

平成23年８月25日（木）三國明ガバナーと金杉　光左生ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会を開催することが出来ました。三國明ガバナーには、10時30分より藤白家に於いて、戸室幾夫会長、竹村晴兆幹事、高橋博会長エレクトを交え約一時間、クラブの現状をお話し、ご指導を頂きました。また、12時より城北信用金庫例会場で、獨協大学RACの会員も出席して例会を開催しました。当日は三國明ガバナーの誕生日で、当クラブの８月に誕生日を迎えた会員と共にお祝いをしました。

例会でのガバナー卓話は、今年度の地区の方針等につき、プロジェクターで詳しく説明頂きました。特に地区全体で会員減少について取り組みたいと強く訴えられました。クラブの活性化は若い会員の増強が急務だと言っておられました。

例会終了後、RACのメンバーを交え記念写真の撮影をし、その後クラブ協議会を開催、今年度戸室幾夫会長方針に従い、各委員会の活動方針を年度計画書の順で発表し、ガバナーのご指導を頂きました。また青少年に対する奉仕活動についても少人数会員で良くこれだけの活動をされているとのお話も頂きました。

クラブとして存続して行く為には、増強を強く説かれ、また、会員増強には、今の会費の現状を充分検討して行かないと、若い会員の増強は厳しいともご指摘を頂きました。長時間にわたりガバナーにはクラブ活性化の為にご指導頂き全会員で御礼申し上げます。ありがとうございました。

浦和RC

例会日：平成23年８月26日（金）
会長：長島　良亮／幹事：武井　雅史

浦和パインズホテルにて、８月26日（金）11時から三國明ガバナー、鈴木眞ガバナー補佐を迎えてのガバナー面談に始まり、12時30分からの歓迎セレモニー、ガバナーご挨拶と卓話、更に15分の休憩をはさんで、13時45分からクラブ協議会が行われました。今年は長島会長の強い意向もあり、「東日本大震災復興支援事業」に特化した協議会とし、委員長報告は５大奉仕のみ、主に支援事業に関する協議を中心に行いました。

三國ガバナー卓話は地区テーマである「ロータリーに新風を！」に就きパソコンを駆使したご講演、更に協議会の中で「クラブの棚卸し」と「中期計画」の実践をご提案頂き、会の終了後改めて、「斬新でユニークなクラブ協議会であった」とのご講評を頂きました。

ガバナーのご来訪に深く感謝致します。

大宮南RC

例会日：平成23年８月30日（火）
会長：八木嘉奈枝／幹事：大沢　守輝

今年で34年を迎える当クラブが抱える、ベテランと若手との意識のギャップをどう埋めていくかに対し、ガバナーから明朗な助言を頂く事ができました。活性化したクラブとなるため今後のロータリー活動の中で生かしていこうと思います。

また、新世代育成に対するガバナーの熱意が非常に良く伝わった公式訪問で、新世代育成に重点をおいた活動を行っていきたいと感じました。

戸田RC

例会日：平成23年８月29日（月）
会長：城戸　重子／幹事：榎本　浩子

新年度のスタートから早や２ヶ月、三國ガバナーそして12グループ川島ガバナー補佐をお迎えし公式訪問を開催。

懇親会ではクラブの現況を通して各活動の在り方、特に新しい活動を始める際の注意点、新世代部門について又、会員増強等につきましては有効な話し合いの時間となりました。

例会では１名の新入会員の胸にバッジをつけて頂きました。

ガバナー自らご用意いただいたパワーポイント活用での卓話はRIテーマ・地区運営方針・各委員会活動につき、ご説明いただき特に新しい会員には大変分り易く、より一層ロータリーを理解できたことと思います。

クラブ協議会では各委員会の事業計画の報告と説明に対し助言、講評を頂戴し心新たに今後の活動に役立てていかれるでしょう。

又、会員から寄せられた「真のロータリアンになるための目標」を高く評価して下さいました。

全員参加の分り易い楽しい例会に繋げていきたい所存です。

ガバナーの温かいお人柄に接し、和やかな公式訪問の一日となりました。暑い夏日のご訪問真に有難うございました。

上尾西RC

例会日：平成23年８月31日（水）
会長：北西　功／幹事：岡田　栄一

８月31日は台風接近により「雨模様」と予報がされていましたが、朝から明るい空で、あまり暑くもなく、絶好の公式訪問日和となりました。

三國ガバナー、尾花ガバナー補佐をお迎えし、緊張した中で公式訪問が始まりました。

しかし、直前に開催された懇親会で、いろいろお話ができ、適切なクラブ運営のための指摘もしていただき、大変有意義な懇親となりました。

例会では、三國ガバナーより、RI会長方針などをわかりやすく説明していただき、クラブ会員にRI方針が浸透したものと感じました。

その後、当クラブの活動状況をお聞きいただき、それに対し懇切丁寧に他クラブの例などを挙げながら、アドバイスやお話をしていただけました。これからのクラブ運営に役立てていければと思います。

最後に、尾花ガバナー補佐からクラブの諸活動の基本的な姿勢というものを聞かせていただきました。

遠路をお来し頂いた三國ガバナー、御同行の尾花ガバナー補佐、貴重な時間をいただき、ありがとうございました。

川口RC

例会日：平成23年９月１日（木）
会長：佐野　良雄／幹事：佐藤　陽子

９月１日（木）、何とか天気が持って欲しいと思うあいにくの台風の日が、公式訪問日。例会場へ卓話用パソコン機材一式を入れたキャリーバックを引いて、早々と単身でお見えになった三國ガバナー、会員一同リーダーたるものの教えを頂いた感がありました。

ユーモア溢れる導入画面で緊張がほどけ、卓話はプロジェクターを使ってのわかりやすい内容でした。なによりも、たくさんのクラブの中から当クラブに関連する画像をわざわざ編集してくださる細やかな配慮に頭が下がる思いです。

鴻巣RC

例会日：平成23年９月６日（火）
会長：大澤　一司／幹事：福島　栄司

９月６日（火）三國明ガバナー様尾花正明ガバナー補佐様をお迎えしての公式訪問例会を開催するにあたり、当クラブでは事前にフォーラムを開き当日の設営や内容の確認をしてまいりましたが、幹事という役柄様々な点で大変緊張いたしました。

また、懇談会では大変貴重なお話を伺え今後のロータリー活動に益々励みになりました。

特に、会員維持増強会におきましては、叱咤激励を頂きました。今後もクラブ一丸となって取り組んでまいります。

思い出に残る公式訪問例会を開催出来ましたことを感謝申し上げます。

三郷RC

例会日：平成23年９月２日（金）
会長：千代田　利光／幹事：坂下　昇平

９月２日のガバナー公式訪問の際には、関東地方に台風12号が直撃する可能性があるのではないかと非常に心配しておりましたが、避ける事が出来まして幸いでした。

そんな中行われた五者懇談会（三國ガバナー・邨田ガバナー補佐・千代田会長・坂下幹事・堀切会長エレクト）では、三國ガバナーは「三郷ロータリークラブは多岐にわたる奉仕活動をされていることは素晴らしい事です」とのお言葉を頂き、中でも韓国東信RCとの間で行われている日韓児童図画交流展を、25年間に渡り継続されている事に対し、諸先輩方に敬意を表されました。

また、クラブ協議会の中でも、「１つのプロジェクトを行うにあたり、プロジェクトをより一層膨らませる、付加価値をつける」というお言葉を三國ガバナーより頂きました。

その言葉を聞いた私は、「プロジェクトのポイントはこれだ」と思い、今後のプロジェクトに役立てていきたいと思いました。

そしてまた三郷ロータリークラブでは、ホームページの立ち上げを是非やって頂きたいとのご提言があり、千代田会長も近々に立ち上げますと約束され、このことによって三郷ロータリークラブが一段高い景色を見ることが出来ると思います。

そして、邨田ガバナー補佐には日頃より第10グループの会長幹事会などでは、常に斬新なアイデアを頂いております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

幸手中央RC

例会日：平成23年９月６日（火）
会長：無量小路　俊宏　／幹事：張ヶ代　宣広

９月６日（火）、三國ガバナーをお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。例会に先立ち、17時より会長・幹事・会長エレクトとの懇談会が行われ、「クラブの特徴」、「現況報告書」、「活動計画の指標」を報告しました。三國ガバナーからは、現在のロータリークラブで重要なことは「会員増強である」と指摘され、新入会員確保として会費の年齢別設定、奉仕を組み入れた例会、奉仕事業をホームページに掲載し活動報告、退会防止として新入会員にも重要ポストの仕事をしてもらう、ロータリー活動についての評価、東北大震災関連の奉仕活動などと、アドバイスを頂きました。出来る事から実現していきたいと考えています。会員一同団結して仲間を増やして参りますので、ご指導ご協力の程、宜しくお願い申上げます。

庄和RC

例会日：平成23年９月７日（水）
会長：吉岡　修／幹事：藤枝　雅男

９月７日（水）　春日部市庄和総合支所　市民ホールにおいて、三國ガバナー、田中第６グループガバナー補佐をお迎えして、公式訪問を開催いたしました。懇談会では、クラブの現状把握から中長期計画まで親切丁寧な助言を頂きました。例会では握手から始まり米山奨学生劉さんの中国語講座、新会員入会式そしてパワーポイントを使用してのガバナー卓話と進行しました。クラブ協議会では各委員長の発表に適切に講評をいただき、最後に田中ガバナー補佐より総評をいただきました。会員にとっても、ガバナーと直接お話が出来る有意義な一日となりました。ご参加くださいました皆様に感謝申し上げます。

大宮RC

例会日：平成23年９月14日（水）
会長：遠藤　省吾／幹事　鈴木　俊一

公式訪問の日、２名の入会式が行われました。

そのうち１名は青少年交換学生のOBということ、そしてもう１名は「ロータリーで鍛えてやって欲しい」と会長が頼まれて入会したということ、またおふたりとも30代ということもあって三國ガバナーが大変喜んでおられました。

クラブ協議会においては、丁寧で解りやすいご指導を頂きました。

それを踏まえて、これからも当クラブは積極的に活動を行って参りたいと思います。ご訪問、ありがとうございました。

ロータリー財団

大口寄付　862, 641 $
世界フェロー基金

田中作次
（八潮）
平成23年９月28日

大口寄付　69, 900 $
ベネファクター（4）

恩田勇次郎
（八潮）
平成23年９月21日

冠名RPC基金　50, 000 $

飯野雪男
（蓮田）
平成23年９月２日

大口寄付　13, 280 $

石野榮一
（越谷南）
平成23年９月22日

大口寄付　11, 534. 76 $

長谷川廣良
（越谷南）
平成23年９月27日

大口寄付　10, 095 $

清水常三
（岩槻東）
平成23年９月28日

大口寄付　10, 000 $

新井佐守
（大宮北）
平成23年９月21日

ロータリーセンター基金
10, 000 $

小畑正勝
（鴻巣水曜）
平成23年９月22日

M·P·H·F（8）

永嶋良一
（大宮）
平成23年９月13日

M·P·H·F（7）

村田信一郎
（八潮）
平成23年９月28日

M·P·H·F（6）

大瀧榮壽
（大宮）
平成23年９月13日

M·P·H·F（6）

荒井　渉
（大宮）
平成23年９月14日

M·P·H·F（6）

村田信一郎
（八潮）
平成23年９月21日

M·P·H·F（6）

布施雅章
（八潮）
平成23年９月28日

M·P·H·F（6）

山崎秀夫
（上尾西）
平成23年９月28日

M·P·H·F（5）

遠藤隆雄
（岩槻）
平成23年８月30日

M·P·H·F（5）

平田　繁
（大宮）
平成23年９月13日

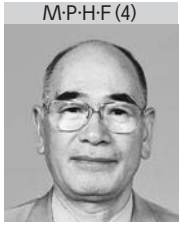
M·P·H·F（4）

岸　聡
（大宮）
平成23年９月13日

M·P·H·F（4）

酒井正次
（大宮中央）
平成23年９月13日

M·P·H·F（4）



櫻井　勉
（八潮）
平成23年９月28日

M·P·H·F（4）

広岡久夫
（八潮）
平成23年９月28日

M·P·H·F（3）

関口　茂
（大宮）
平成23年９月13日

M·P·H·F（3）

金杉　豊
（八潮）
平成23年９月28日

M·P·H·F（3）

星野宗敏
（上尾西）
平成23年９月28日

M·P·H·F（3）

中村　僚
（さいたま中央）
平成23年９月29日

M·P·H·F（2）

大竹　敦
（大宮）
平成23年９月13日

M·P·H·F（2）

兼杉涼二
（大宮）
平成23年９月13日

M·P·H·F（2）

徳山義行
（大宮）
平成23年９月13日

M·P·H·F（2）

日下部眞史
（大宮）
平成23年９月14日

M·P·H·F（2）

菊池文彦
（さいたま中央）
平成23年９月29日

M·P·H·F（2）

近藤登志夫
（さいたま中央）
平成23年９月29日

M·P·H·F（2）

酒向克美
（庄和）
平成23年10月６日

M·P·H·F（1）

小林光蔵
（越谷南）
平成23年９月22日

M·P·H·F（1）

本人の希望により
掲載しません

中島頼光
（越谷南）
平成23年９月22日

M·P·H·F (1)

井尻　修
(八潮)
平成23年９月28日

M·P·H·F (1)

岡本　壽
(八潮)
平成23年９月28日

M·P·H·F (1)

坂入義完
(八潮)
平成23年９月28日

M·P·H·F (1)

瀬田秀樹
(八潮)
平成23年９月28日

M·P·H·F (1)

高橋賢太郎
(八潮)
平成23年９月28日

M·P·H·F (1)

沼澤明夫
(八潮)
平成23年９月28日

M·P·H·F (1)

榎本奎二
(さいたま中央)
平成23年９月29日

M·P·H·F (1)

菊池隆喜
(庄和)
平成23年10月６日

P·H·F

本人の希望により
掲載しません

武藤　裕
(川口)
平成23年９月15日

P·H·F

森田昭平
(川口)
平成23年９月15日

P·H·F

塩野　潔
(さいたま中央)
平成23年９月29日

P·H·F

松本輝夫
(さいたま中央)
平成23年９月29日

P·H·F

金子桂子
(浦和西)
平成23年９月30日

ベネファクター

佐藤美好
(浦和中)
平成23年７月８日

大口寄付　10,100＄
ベネファクター

遠藤省吾
(大宮)
平成23年９月13日

ベネファクター

北西　功
(上尾西)
平成23年９月28日

ベネファクター

青木繁之
(岩槻)
平成23年９月30日

米山奨学会

米山功労者メジャードナー(22)

石井　治
(春日部)
平成23年９月15日

米山功労者メジャードナー(15)

中里公造
(川口モーニング)
平成23年９月27日

米山功労者メジャードナー(12)

山崎秀夫
(上尾西)
平成23年９月28日

米山功労者マルチプル(9)

加藤和正
(岩槻東)
平成23年９月28日

米山功労者マルチプル(7)

岩﨑　彰
(大宮)
平成23年９月13日

米山功労者マルチプル(7)

田村　眞
(大宮)
平成23年９月13日

米山功労者マルチプル(7)

三輪昭彦
(春日部)
平成23年９月15日

米山功労者マルチプル(5)

岩井良彦
(大宮)
平成23年９月13日

米山功労者マルチプル(5)

染谷英寿
(春日部)
平成23年９月15日

米山功労者マルチプル(5)

田口　武
(春日部)
平成23年９月15日

米山功労者マルチプル(4)

宍倉幹夫
(岩槻中央)
平成23年９月30日

米山功労者マルチプル(4)

菊池隆喜
(庄和)
平成23年10月６日

米山功労者マルチプル(3)

篠崎　英夫
(春日部)
平成23年９月15日

米山功労者マルチプル(2)

田村友彦
(春日部)
平成23年９月15日

米山功労者マルチプル(2)

坂寄栄司
(春日部イブニング)
平成23年10月12日

米山功労者マルチプル(2)

長谷川光司
(春日部イブニング)
平成23年10月12日

米山功労者マルチプル(1)

中内　誠
(大宮東)
平成23年９月26日

新会員

準米山功労者

内山泰成
（大宮西）
平成23年９月27日

準米山功労者

栗原茂夫
（大宮西）
平成23年９月27日

室橋隆雄
（八潮）
平成23年８月23日入会
一期一会葬祭㈱
葬祭業

久木野光弘
（越谷南）
平成23年９月１日入会
㈲ひかり物流
運送業務

石橋久充
（幸手中央）
平成23年９月６日入会
㈱ワイズトラスト
損害保険

油原正義
（三郷ウエンズデー）
平成23年９月７日入会
松井産業㈱
不動産売買

山口裕二
（三郷ウエンズデー）
平成23年９月７日入会
㈲ヤマグチオート
自動車整備・板金

齊藤裕亮
（大宮）
平成23年９月14日入会
㈱ビーエル
総合食品販売

星野晃一郎
（大宮）
平成23年９月14日入会
星野木材㈱本郷営業所
木材販売

本田栄一
（越谷南）
平成23年９月15日入会
㈲H&Dフーズ
飲食業

服部智也
（久喜菖蒲）
平成23年９月22日入会
㈲服部石材店
石材加工

岩瀬裕道
（さいたま新都心）
平成23年９月26日入会
東京海上日動火災保険㈱
損害保険業

渡邉浩一
（さいたま新都心）
平成23年９月26日入会
東京海上日動あんしん生命㈱
生命保険業

渡辺光浩
（幸手）
平成23年９月28日入会
エクテム有限会社
建設業

柏倉光行
（浦和）
平成23年９月30日入会
日信電設㈱
電気工事

乾　聡美
（岩槻中央）
平成23年10月１日入会
㈲ぴゅあ
介護サービス

訃報 ◆ 謹んでお悔やみ申し上げます。

登澤宗雄 会員
（大宮南西）
平成23年10月５日
享年75歳

文庫通信（289号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

◈ 地区大会記念講演より ◈

◎「有田の伝統を語る（対談）」14代酒井田柿右衛門 2011 7p（D.2740）
◎「夢を創る」安藤忠雄 2011 4p（D.2580）
◎「一隅を照らす」半田孝淳天台座主 2011 6p（D.2600）
◎「遺言書を書いて千日回峰行」上原行照師大阿闍梨 2011 5p（D.2600）
◎「いくつもの壁にぶつかりながら『19歳・児童売春撲滅への挑戦』」村田早耶香 2011 4p（D.2780）
◎「日本のこれから、日本人のこれから」藤原正彦〔2011〕16p（D.2530）
◎「アジア大交流時代の幕開けと日本人」浜田和幸 2011 7p（D.2560）
◎「ソフトパワー大国を目指して～山形からの可能性」結城章夫〔2011〕7p（D.2800）
◎「CO_2貯留研究の現状と課題」村井重夫〔2011〕12p（D.2800）

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫
〒105-0011　東京都港区芝公園２-６-15
黒龍芝公園ビル３Ｆ
TEL（03）3433-6456　FAX（03）3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時
休館＝土・日・祝祭日

《 会員増強の全てがクラブ活性化につながる 》

会員増強維持委員　瀧田　和雄（第４グループ担当）

私は過去十数年に亘り毎年２～３千人の会員が『何故減少し続けてきたか』という原因を十分理解したうえで、将来に向けての方策を考えてゆくことが不可欠であると思っている。共通して感じたのは、全てのクラブが危機意識を持って悩みぬいていることであり、我々地区委員が如何にして少しでも問題解決をサポートできるかという責任の重大さをひしひしと感じている。そうした考えでクラブに向けての共通のテーマを『会員増強の全てがクラブ活性化につながる』とした。そしてクラブから卓話では下記の項目を重点に会員とセッションした。

会員増強の真の目的は？

1）クラブの活性化
2）若い会員のパワー
3）地域社会における奉仕活動の実践
4）ロータリーの目的である奉仕の理想とRIプログラムへの参加

会員増強実践の手法

1）会長のやる気
2）クラブの会員全員の意識
3）自分は誰に誘われたか
4）ロータリアンとしての幸せを多くの人に
5）会費・入会金の軽減

会員増強は誰のため？

1）相手を説得するということは先ず自分を磨かなければならない
2）自分に影響力がなければ人は決して動いてくれない
3）相手を想う気持ちがなければ、心は伝わらない
4）自分を成長させてくれる

私は卓話の中で主に以上の点に重点を置き、出来るだけ多くの会員から意見を頂くように一方的な話でなくセッション形式で大ベテランから新入会員まで参加して頂いた。全てのクラブで活発な意見が交換され問題意識を実感した。大勢の会員から「増強しなければならないことは十二分に認識している。実行しようとしても直ぐはねっかえされる」といった意見が続出した。この問題の解決法であるが、「新しい会員が直ぐ友達を連れてきた」「銀行の支店長に紹介してもらった」「業種より業態に目を向ける」など、他クラブの情報なども参考にしてみることを勧めている。

しかし、最も大切なことはクラブのスタンスである。自分のクラブが自信を持って他に誇れるプログラムの実践をし、新入会員のみならず全員に対する「家庭集会」におけるロータリーの勉強会を取り上げていただくよう要請している。言いかえれば、退会の主な原因は、「他者に誇れる例会運営」と「会員に対する研修」を蔑にしてきた結果であり、大会防止に向けてのこれからのクラブ運営の責任は、「例会プログラムの充実」と各地で開催されている「プログラムへの参加」とクラブ内で行う「炉辺会合」が不可欠である。

会員2770名に向かって

最後になりますが、皆さんご存じの通り次年度に田中作次さんが国際ロータリー会長に就任されます。私ども2770地区のみならず、日本のロータリーの大変名誉なことであります。私どもはどのような支援をしてゆけばよいか考えなければなりません。三国ガバナーは今年度会員増強目標を2770名と提唱されました。是非この目的に向かってご協力を心からお願い申し上げます。この目標に向かって私ども会員増強維持委員会は皆様のクラブに出来るだけの支援をさせていただきます。どうか委員会に声をかけてください。

広報部門よりご案内

●2770地区ホームページ
http : //www.ri2770. com/

●2770地区ブログ
http : //ameblo.jp/ri2770/

●2770地区フェイスブック
http : //www.facebook.com/ri2770

是非アクセスしてください!!

2011～'12年度　9月の会員数及び出席率報告

グループ	クラブ名	2010年7月1日現在	内女性	当月末会員数	内女性	増減	目標新会員	通算新会員	当月 出席率	当月 順位	通算出席率順位
第一グループ	浦和	101	0	100	0	−1	5	1	85.94	27	32
	浦和東	78	2	79	2	1	3	2	89.22	17	13
	浦和南	29	0	29	0	0	3	0	93.82	6	2
	浦和中	36	2	36	2	0	5	0	86.00	26	14
	浦和ダイヤモンド	20	11	19	11	−1	2	0	88.15	20	7
	第1グループ計	264	15	263	15	−1	18	3	88.63		
第二グループ	浦和北	70	3	72	3	2	10	2	91.04	10	8
	さいたま中央	45	1	45	1	0	3	0	77.78	61	49
	浦和西	20	3	20	3	0	4	0	80.56	47	54
	浦和北東	42	1	43	1	1	6	1	77.11	63	67
	さいたま新都心	40	0	41	0	1	4	3	93.11	7	5
	第2グループ計	217	8	221	8	4	27	6	83.92		
第三グループ	大宮	52	0	53	0	1	10	3	80.82	45	50
	大宮南	35	5	38	5	3	5	4	78.94	54	58
	大宮中央	48	0	48	0	0	5	0	80.32	48	60
	大宮南東	7	2	10	2	3	3	4	78.00	60	65
	大宮シティ	62	5	63	5	1	8	1	80.95	43	51
	さいたま欅	21	0	22	0	1	3	1	77.27	62	63
	第3グループ計	225	12	234	12	9	34	13	79.38		
第四グループ	大宮西	66	0	68	0	2	20	2	81.50	40	31
	岩槻	29	4	29	4	0	2	0	48.01	80	80
	大宮北	22	1	22	1	0	3	0	85.30	30	23
	大宮南西	9	1	9	1	0	2	0	72.21	73	76
	大宮東	36	0	38	0	2	5	2	78.15	58	38
	岩槻東	29	1	29	1	0	3	0	79.83	51	46
	大宮北東	16	2	16	2	0	3	0	88.00	21	17
	岩槻中央	14	0	14	0	0	1	0	71.42	74	68
	第4グループ計	221	9	225	9	4	39	4	75.55		
第五グループ	上尾	39	1	39	1	0	3	0	83.33	34	20
	鴻巣	27	0	27	0	0	3	0	96.29	4	4
	桶川	22	0	22	0	0	2	0	71.28	76	77
	上尾西	41	0	41	0	0	5	0	82.93	36	29
	北本	8	0	8	0	0	2	0	82.50	37	37
	上尾東	19	0	19	0	0	2	0	84.10	32	36
	上尾北	27	0	27	0	0	3	0	89.57	16	11
	鴻巣水曜	31	3	31	3	0	3	0	85.20	31	53
	桶川イブニング	16	0	16	0	0	2	0	78.13	59	74
	第5グループ計	230	4	230	4	0	25	0	83.70		
第六グループ	春日部	41	0	43	0	2	5	2	92.12	8	10
	杉戸	26	1	27	1	1	2	1	75.00	66	59
	春日部西	35	2	34	2	−1	3	0	80.70	46	69
	庄和	19	0	21	1	2	1	2	85.70	28	19
	春日部南	28	4	30	4	2	5	2	72.50	71	75
	春日部イブニング	22	1	22	1	0	3	0	78.93	55	39
	杉戸中央	24	0	24	0	0	2	0	72.50	71	72
	第6グループ計	195	8	201	9	6	21	7	79.64		
第七グループ	幸手	41	2	43	2	2	5	2	88.16	19	22
	蓮田	33	0	36	0	3	6	3	73.61	70	52
	久喜菖蒲	57	4	59	4	2	6	2	75.93	64	45
	栗橋	12	0	12	0	0	2	0	87.50	23	24
	幸手中央	24	1	25	1	1	3	1	92.00	9	47
	第7グループ計	167	7	175	7	8	22	8	83.44		
第八グループ	越谷	80	2	80	2	0	5	0	80.95	43	57
	越谷南	51	3	51	3	0	5	4	80.05	49	62
	越谷北	51	0	51	0	0	5	0	89.15	18	34
	越谷東	47	6	48	7	1	2	1	90.79	12	41
	越谷中	12	0	15	0	3	2	3	87.07	24	33
	第8グループ計	241	11	245	12	4	19	8	85.60		
第九グループ	草加	18	2	18	2	0	5	0	66.00	78	79
	八潮	47	4	48	4	1	12	1	91.02	11	18
	草加南	12	1	11	1	−1	2	0	85.45	29	25
	八潮イブニング	24	0	24	0	0	4	0	90.26	14	27
	草加イブニング	11	0	11	0	0	2	0	84.09	33	26
	八潮中央	15	0	15	0	0	3	0	90.66	13	6
	草加中央	23	0	23	0	0	2	0	79.38	53	44
	八潮シティ	9	0	9	0	0	2	0	74.92	68	56
	草加21	8	3	9	3	1	3	1	74.99	67	66
	第9グループ計	167	10	168	10	1	35	2	81.86		
第十グループ	吉川	31	1	31	1	0	5	0	81.25	41	28
	三郷	30	2	30	2	0	3	0	81.67	39	42
	三郷中央	17	0	18	0	1	3	1	97.22	3	3
	三郷ウェンズデー	20	2	21	2	1	4	2	80.00	50	30
	松伏	11	3	12	3	1	4	1	97.82	2	9
	第10グループ計	109	8	112	8	3	19	4	87.59		
第十一グループ	川口	82	11	83	11	1	5	3	78.64	57	70
	鳩ヶ谷	25	0	25	0	0	0	0	83.20	35	43
	川口東	19	1	19	1	0	5	0	86.77	25	21
	川口・鳩ヶ谷武南	26	2	27	2	1	2	1	71.40	75	64
	川口モーニング	26	1	24	1	−2	5	0	81.73	38	16
	川口南	31	4	32	4	1	2	1	64.00	79	78
	鳩ヶ谷シティ	14	0	15	0	1	3	1	89.64	15	15
	第11グループ計	223	19	225	19	2	22	6	79.34		
第十二グループ	戸田	52	5	53	5	1	3	1	78.70	56	48
	蕨	26	1	26	1	0	3	0	81.00	42	55
	川口西	27	3	27	3	0	3	0	74.00	69	73
	戸田西	29	1	28	1	−1	2	0	87.69	22	40
	川口北	33	2	33	2	0	20	0	100.00	1	12
	川口北東	28	4	29	4	1	5	1	79.46	52	35
	川口中央	13	1	13	1	0	2	0	94.45	5	1
	川口むさし野	19	1	18	1	−1	3	0	69.44	77	71
	戸田イブニング	18	0	18	0	0	3	0	75.57	65	61
	第12グループ計	245	18	245	18	0	44	2	82.26		
	地区合計	2504	129	2544	131	40	325	63	82.12		

※会員数及び出席状況の報告は翌月の15日までにお願いします